

世田谷の教育を考える会学習会

# より良い教科書を子どもたちの手に！ 採択に向けて教科書を読み比べよう

ロシアによるウクライナ侵攻が3年目に入り、イスラエルによるガザ攻撃の様子が連日報道されています。子どもたちにとって戦争はどのようにうつっているのでしょうか。「新しい戦前」などにならぬよう、戦争の歴史の真実を学び、平和の大切さを学び取ってほしいです。

だからこそ、より良い教科書を子どもたちの手に届けなくてはなりません。

今年は中学校の教科書採択の年です。教育委員会は教科書採択にあたり、広く区民からの意見を求め、地域に教科書の展示会を開いています。教員は出張で出向くことができます。教科書展示会に足を運び、アンケートに意見を書きに行きましょう。

そのためには、まず、その内容を知らなくてはなりません。しかし、教科書の数膨大で、何をどこから見ていけばよいのか困惑してしまいます。そこで教科書問題に詳しい講師をお招きして、社会科（歴史・公民）の戦争に関する記述内容を中心に、その扱い方の違いや問題点を提示していただき、教科書を読み比べる視点としていきたいと思ひます。是非、ご参加ください。



日時：6月4日（火）午後6時30分～

（開場 6時10分）

会場：みやさか 宮坂区民センター2F 大会議室  
（東急世田谷線宮の坂駅隣）

講師：片桐育美さん

（東京都教員・子どもと教科書全国ネット21常任運営委員）

資料代：300円



「新しい学び」って言うけど、教科書も変わっているのかな？

これからの環境のことが心配。原発や海洋汚染のことはどう書かれているのかな？

アジア太平洋戦争を「大東亜戦争」と書いてある教科書もあるね。

僕たちは、本当のことを知りたいんだ！



主催：世田谷の教育を考える会

連絡先：世田谷区世田谷1-41-12

世田谷区教職員組合内

03-3427-8811